



あなたの思いやりを

山梨県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人 被害者支援センターやまなし だより

第18号

平成25年3月



山梨県立図書館交流ルーム101で開かれた平成24年度理事会

平成24年度 第2回 理事会を開催

3月4日、甲府市・山梨県立図書館

当センターは、3月4日(月)午後1時30分から甲府市・山梨県立図書館1階交流ルームで、平成24年度第2回理事会を開催しました。竹井清八理事長のあいさつののち議長を選出し議事に入りました。

事務局より平成24年度の「収支補正予算」、25年度の「事業計画」、「収支予算」、さらに「事務局長の任免」、「定款の一部改訂」等の案がそれぞれ提案され協議のうえ承認されました。

平成24年度 補正予算

(単位:千円)

		予算額	補正額	補正後予算額
収入	会費収入	4,100	-295	3,805
	寄付金収入	502	336	838
	補助金等収入	9,453	389	9,842
	雑収入	3	123	126
収入合計		14,058	553	14,611
支出	事業費	11,701	-246	11,455
	管理費	4,028	116	4,144
	予備費	129	0	129
当期支出合計		15,858	-130	15,728
当期収支差額		1,800	683	2,483
次期繰越金		0	2,531	2,531

平成25年度 予算案

(単位:千円)

		予算額
収入	会費収入	4,470
	寄付金収入	830
	補助金等収入	7,183
	雑収入	3
	前期繰越額	0
収入合計		12,486
支出	事業費	8,889
	管理費	3,530
	予備費	67
当期支出合計		12,486
当期収支差額		0
次期繰越収支差額		0

平成25年度 事業計画案

事業名	実施事項	実施時期
会務運営	社員総会	6月
	理事会	総会前、及び必要に応じて開催する
相談活動の推進	電話相談	通年
	メール相談	
	面接相談	
	専門相談	
直接的支援活動の推進	付添い支援	通年
	日常生活への支援	
間接的支援活動の推進	間接支援	通年
	自助グループへの支援	
ボランティア支援員の養成・育成	新規募集と養成講座	随時募集
	育成講座(研修会)	通年
相談体制の充実	専門相談員の委嘱	通年
	代理被害の防止	
広報啓発活動	広報活動(機関誌発行)	3回
	広報活動(チラシ等配布)	通年
	啓発活動(イベント等に参加)	
	啓発活動(講演会等)	11月
調査研究活動	調査活動及び研究活動	通年

有力情報求めチラシ配布

ひき逃げの犠牲となった平野隆史さん

2月25日 遺族が私的懸賞金



平成23年2月25日、甲斐市志田の国道20号線でひき逃げに遭った平野隆史さん(佐賀県出身・当時24歳)のご遺族が、いまだ捜査が進展しないため、有力な情報提供を求め、私的懸賞金を掛けました。事件から丸2年経った2月25日、ご遺族は佐賀県から所轄の韮崎警察署を訪れ、私的懸賞金の覚書を交わしました。

当センターでは、平野さんのご遺族をサポートするため、当日の記者会見の進行を行い、その後、甲斐市内のショッピングセンターで、平野さんのご遺族、同僚、県警らとともに当センター職員とボランティア支援員が目撃情報などを求めるチラシを買い物客らに配りました。

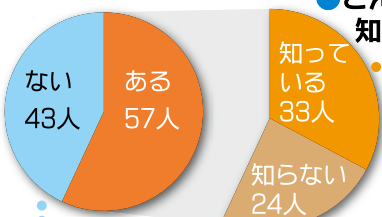


南アルプス市「市民活動フェスタ」に出展

会場で100人アンケート実施

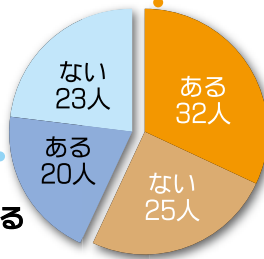
当センターでは3月10日、南アルプス市櫛形総合体育館で開かれた「市民活動フェスタ」に出展し、被害者支援活動を啓発しました。会場では「防災コーナー」内・南アルプス署のブースの一角で、同署職員の協力を得ながら啓発用のチラシなどを配布しました。また、来場者のうち100人を対象にアンケート調査も行いました。結果は以下の通りでした。

●「支援センターやまなし」を聞いたことがある？



●どんな支援をするか知っている？

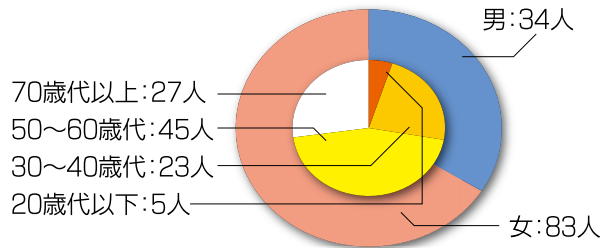
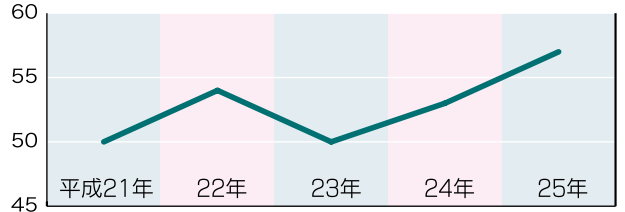
1で「ある」と答えた人



●被害遭遇時に相談する人や機関がある？

1で「ない」と答えた人

●当センターのことを聞いたことがある人の推移



70歳以上:27人
50~60歳代:45人
30~40歳代:23人
20歳代以下:5人

ボランティア支援員「第6期生」養成講座を開催

ボランティア支援員「第6期生」候補者を養成する研修講座を実施しました。平成24年12月9日から3月3日までの期間中、計7日間にわたって被害者支援に必要な法律や精神的症状などの基礎知識や、臨床心理士によるワークショップなどを行い支援員を養成しました。第6期生はこの4月から支援員として活動していただきます。ご活躍を期待しています。

担当いただいた講師の皆さま、ありがとうございました。



山口勝弘 副理事長
(県臨床心理士会会長)



比志真美 講師
(臨床心理士)



石川恵 講師
(県弁護士会)



二階堂郁美 講師
(甲府地方検察庁)



白石孝一 講師
(精神保健指定医)



武者吉英 講師
(県産婦人科医会会長)



伊藤美佳 講師
(臨床心理士)



信田恵三 講師
(法テラス山梨副所長)



田中健夫 講師
(臨床心理士)



岡本かおり 講師
(臨床心理士)



山角駿 副理事長
(県精神科病院協会会長)



菅弘康 講師
(臨床心理士)



大澤英二 講師
(県ボランティア協会会長)



小川優子 講師
(臨床心理士)



稲永澄子 講師
(臨床心理士)



小野忠則 専務理事
(当センター)



佐々木由紀 講師
(犯罪被害相談員)

自治体職員向け犯罪被害者等施策 研修会に佐々木次長が講師として参加

1月16日、ぴゅあ総合で開かれた、内閣府と山梨県が主催する自治体職員向けの犯罪被害者等施策研修会に、当センターから講師として佐々木由紀事務局次長を派遣しました。市町村の犯罪被害者等施策主幹課の実務担当者を対象に、施策の意義と重要性の認識と理解、基礎的知識の修得、さらに市町村間の協力体制の構築を促すもので、佐々木次長はグループ討議に参加、講師として討議を展開しました。この研修会は、今後も、より多くの自治体職員の参加を募り、続けたいと考えています。

参加者募集 「犯罪被害者支援」講座を開催します

当センターでは、平成25年度に「犯罪被害者支援」に関心をお持ちの方を対象に講座を開催します。夏期に入門講座を開き、実際に支援活動への参加を希望される方を対象として、秋から来年の3月頃までの間に10日間程度の初級講座を予定しています。いずれも平日、半日ほどの講義です。

詳しくは当センター事務局までお問い合わせください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

あなたの思いやりが被害者を支えています。 ご協力感謝申し上げます。

(敬称略・順不同) (平成24年12月1日～平成25年2月28日)

寄付者

- (財)山梨県防犯協会
- (株)たいよう共済山梨支店
- 山梨県弁護士会
- (有)大和薬局
- 大和開発株式会社
- 山梨県交通安全協会
- (株)テレビ山梨
- (株)フローレン(自販機分)
- 匿名1名
- 古屋 勇紀
- 石川 明
- 加藤 隆博
- 井上利男
(井上内科小児科)
- 山梨県司法書士会
- 法テラス山梨

お問い合わせ先

山梨県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人被害者支援センターやまなし

〒400-0031 甲府市丸の内2-32-11 県医師会館3F
TEL・FAX055(228)8639
URL <http://www6.ocn.ne.jp/~shienyam/>
MOBILE <http://www6.ocn.ne.jp/~shienyam/m/>
Email sien-yamanashi@comet.ocn.ne.jp



賛助会員を募集しています!!

当センターの運営は、山梨県及び県内市町村の「助成金」と法人(各種団体・事業所)、個人の皆様方の「会費」、「賛助会費」、「寄付金」等によって賄われておりますが、収益事業を行っていないため、財政基盤が十分ではないのが実情です。

現在も、被害者支援に関する事業を安定的かつ継続して行っていくために必要な財源が不足しており、その財源につきましては県民の皆様の浄財に頼らざるを得ない状況にあります。

このため、当センターでは被害者支援活動の必要性や当センターの果たす役割の重要性を広く県民に訴え、多くの方々の理解と協力を求めています。

なお、賛助会員、寄付金の募集内容は以下の通りです。ご協力よろしくお願いたします。

賛助会員

個人会員	1口	2,000円(年間)
法人会員・団体会員	1口	10,000円(年間)

寄 付

個人寄付	1口	1,000円
法人・団体寄付	1口	10,000円

お振込先

●銀行振り込みの場合

山梨中央銀行 県庁支店 普通預金 口座番号662535
受取人
(フリガナ) シャ)ヒガイシャシエンセンターヤマナシ
(社)被害者支援センターやまなし

●郵便振替の場合

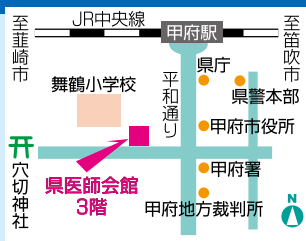
00270-3-114370
(社)被害者支援センターやまなし



犯罪・交通事故等の被害で
悩んでいませんか?
私たちにお電話ください

電話相談 フジ は ハローニコニコ
相談無料 ☎055(228)8622

受付: 10:00~16:00(土・日・祝日・年末年始は除く)
※秘密は厳守されます。相談の内容は一切外に漏れることはありません。
※お名前、話したくないことを無理にお聞きすることはありません。



この広報紙はボートレースの交付金による日本財団の助成金を受けて作成しました。